

【全日程】

- 14：00～14：10 集合（市役所4階 中会議室）・松本委員辞令交付・日程説明
- 14：10～16：00 移動・現地調査（今回の現地調査は市内東部の巡回）
- 16：10～17：00 会議・情報交換

○1号車（井上） ○2号車 吉田運転士（委員、教育長、教育次長、課長、総括、菅波）

晴天時計画		雨天時計画	
時間	内容	時間	内容
14：10	市役所職員通用口集合	14：10	市役所職員通用口集合
14：15～14：30 (15分)	餓死供養塔	14：15～14：30 (15分)	餓死供養塔
14：45～15：00 (15分)	五龍のフジ (フジ)	14：45～15：00 (15分)	五龍のフジ (フジ)
15：05～15：20 (15分)	滝沢市埋蔵文化財センター (トイレ休憩含む)	15：05～15：20 (15分)	滝沢市埋蔵文化財センター (トイレ休憩含む)
15：30～16：00 (30分)	民具收藏庫 (旧公民館ホール)	15：30～16：00 (30分)	民具收藏庫 (旧公民館ホール)
(懇談会会場への乗車準備等) 会場まで公用車利用の方は同じハイエースで			
17：15	市役所職員通用口発	17：15	市役所職員通用口発
状況に応じて経路変更する場合あり		状況に応じて経路変更する場合あり	
18：00	会場着（盛岡市大通）	18：00	会場着（盛岡市大通）
18：00 頃から	歓迎懇談会	18：00 頃から	歓迎懇談会

- ・文化財調査委員 松本 博明 先生をお迎えする懇親会  
日時 7月26日（金）18時頃から（開会時間は当日の状況による）  
会場 「串え」（会費5千円）  
(中央通2-1-2樫の木ビル1階)

## 【1 調査】 (2) 市内指定文化財等の現地調査

調査1 餓死供養塔 (指定：昭和42年3月1日)

所在地 鶉飼狐洞 367 番地

供養塔建立時期

- ①寛政12年(1800年)4月18日建立 鶉飼笹森(一本柳)
- ②文化12年(1815年)4月16日建立 鶉飼狐洞(現位置)
- ③天保3年(1832年)4月28日建立 鶉飼笹森(一本柳)
- ④安政2年(1855年)7月16日建立 滝沢高屋敷(高屋敷)

滝沢市には、餓死供養塔は3地域にありましたが、道路拡張整備や耕地整理等の開発行為により現在は鶉飼狐洞に供養塔四基があります。

### 盛岡藩の四大飢饉

- 1 元禄の飢饉(元禄8年・1695)
- 2 宝暦の飢饉(宝暦5年・1755)
- 3 天明の飢饉(天明3年・1783)
- 4 天保の飢饉(天保4年・1833)



①



寛政十二年（一八〇〇）  
高一五八cm  
幅七〇cm

念仏供養塔  
寛政十二年 鵜飼村

○餓死供養塔  
庚申四月十八日 連中

③



天保三年（一八三二）  
高一二〇cm  
幅一〇〇cm

天保三年辰年  
四月廿八日

○餓死供養塔  
鵜飼村中

碑文

④



安政二年（一八五五）  
高一一五cm  
幅一〇〇cm

たき沢村中  
安政二卯年

○餓死供養塔  
七月十六日  
石工市郎

②



文化十二年（一八一五）  
高一二六cm  
幅六〇cm

文化十二年己刻  
右ハをにこり道  
有無両縁

卍餓死供養塔  
三界萬靈  
左ハ三日月道  
四月十六日  
鵜飼村中

碑文

調査2 角掛神社の五龍のフジ (指定：昭和53年10月2日)

所在地 滝沢湯舟沢34番地

市指定天然記念物 つのかけじんじゃ ごりゅう <b>角掛神社の五龍のフジ</b>	指定年月日 昭和53年10月2日 所有者 角掛神社 所在地 滝沢市滝沢字湯舟沢34番地
--	---

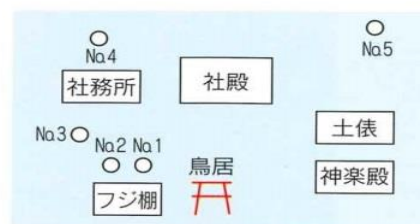


フジの花

樹齢がおよそ二百年から三百年の老木が5本もそろって自然のままに生えているのは県下でも珍しく、その姿はあたかも5頭の龍が大空に舞い上がる姿を思わせることから「五龍のフジ」と命名されています。

昭和53年に測定した樹高と目通周囲は次のとおりです。

- No.1 樹高約 16m 幹周囲 1.7m
- No.2 樹高約 18m 幹周囲 1.9m
- No.3 樹高約 19m 幹周囲 1.4m
- No.4 樹高約 16m 幹周囲 1.4m
- No.5 樹高約 17m 幹周囲 1.4m



角掛神社配置図

(現在 No.1とNo.2は藤棚に、No.3～No.5は一部剪定により、昭和53年に測定した樹高とは異なっています。)

昭和58年の強風により、No.1とNo.2は倒木したことから、平成4年12月鉄骨構造の藤棚を設置して保護整備をしました。

その後、平成20年11月にそれぞれのフジを、剪定、害虫防除、材質腐朽部処理などの保護処置を行い、No.4とNo.5については支柱を設置し、落下防止のための結束などの保存整備を行いました。

なお、平成20年11月の保存整備は「岩手大学滝沢演習林維持経費活用補助金」を活用して整備しました。

## 調査3 滝沢市埋蔵文化財センター

湯舟沢環状列石（県指定 平成25年11月5日）

所在地 滝沢市湯舟沢327-13

遺跡は、あすみの団地の造成工事に伴う事前の発掘調査により、平成2年5月に発見されました。当初は、記録保存の発掘調査をした後、工事により消滅する運命でしたが、縄文時代後期前葉(4,000年前)の環状列石が発見され、その重要性が次第に明らかとなり、滝沢市（当時は滝沢村）は、同年7月、急遽現地現状保存に調査方針を転換し、用地の公有化等の手続きを進め、平成9年3月に史跡公園として整備しました。現在、環状列石の実物は埋設保存され、地上には同質の石材にて原寸大に復元された石の並びが史跡公園として公開されています。（公園面積約6,450㎡）

環状列石は、西に標高528mの円錐状の谷地山を望む、北から南に下がる緩やかな斜面（比高差約6.25m）に立地し、南側低地から配石が途切れる南南東側にかけての登り斜面を蛇行する道路が6条発見されています。道幅は50～150cm、全体に極めて硬く叩き締められ、現代のコンクリート道路のようです。道の発見は、埋葬や祭祀の儀式が、極めて強いルールによって執り行われたものと推測されます。

環状列石の周辺は、昭和57～58年にかけて約55,900㎡が発掘調査されていますが、このお墓を使用した人々の集落跡は発見されておらず、生活の場と埋葬・祭祀空間が分離していることが明らかとなりました。



■湯舟沢環状列石

## ◇足形付土版1点（市指定 平成25年7月30日）

歩行直前の幼児の左足の形がついた粘土の焼き物。岩手県内では現在でも初の出土例（昭和57年）となっている。平沢彌一郎医学博士（鑑定当時、東京工業大学教授）によれば、身長80cm、体重10kg、生後10カ月から12カ月の男児と鑑定されている。

縄文時代のこのような資料は、主に北海道・東北地方で発見されているが、現在でも10遺跡に満たず、出土そのものが極めて少ない資料となっている。



足形付土版

## ◇人体文付深鉢1点（市指定 平成25年7月30日）

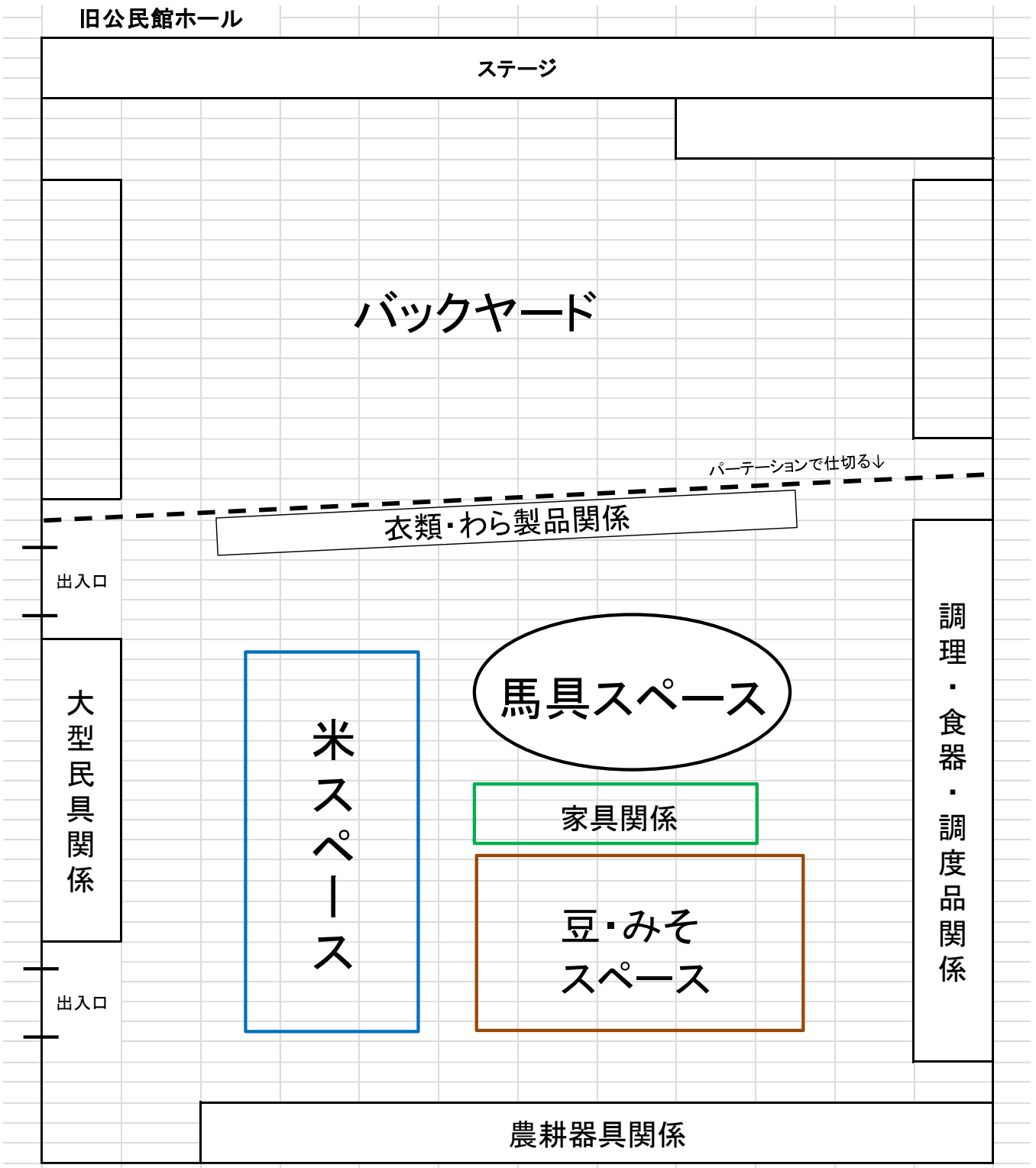
一見、土偶を想定させる人物の文様である人体文が付けられた縄文土器の深鉢です。人体や人面を表現した縄文土器は全国でもいくつか知られ、北海道・東北地方で特に発達した土器ですが、とりわけ、この資料のように人体の写実的なモチーフが明瞭に残っているものは極めて少なく、縄文時代の狩猟儀礼や祭祀を解明する第一級の資料である。



人体文付深鉢

調査4 民具収蔵庫

市所有の民具について、下記配置図のとおり展示を進める予定。



## 【2 会議】

(1) 教育長挨拶

(2) 会議録署名委員の指名について

- ・ 選出方法について

(3) 協議

### 議案第1号 副委員長の選出について

平成31年4月1日付け副委員長辞任に伴い、副委員長について選出します。

副委員長	
------	--

期間は令和元年7月26日から令和2年3月31日まで

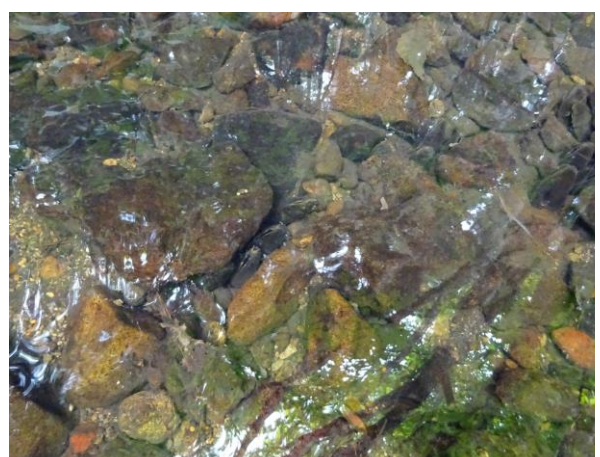


報告第1号 令和元年度滝沢市文化財事業の進捗状況について

(1) 文化財関係

事業・活動名	実施状況	実施内容
文化財調査委員会議	会議・調査 1回目 7月26日(金) 2回目 11月予定 3回目 2月予定	1回目 会議・現地調査 2回目 会議・現地調査 3回目 会議・調査報告
滝沢市の歩み講座 (郷土史活用事業)	全2回 1回目 8月24日(土) 交流館	滝沢市の歩みをテキストに 歴史講座を開設
指定文化財見学会 (郷土史活用事業)	2回目 9月29日(日)	指定文化財等の見学会
文化財パネル展示	指定文化財のパネル展示を通じた指定文化財の周知を図る	郷土芸能まつりでの展示を予定 (無形民俗文化財)
出前講座事業	「たきざわの文化・歴史紹介」 年間(申し込みに応じ)	年間
文化財掘り起し事業 (文化財指定関連)	・カワシンジュガイ生息調査 県立博物館学芸調査員 渡辺修二 4回～5回程度 1回目 5月22日(水) 芋桶沢 2回目 6月19日(水) 芋桶沢 3回目 7月31日(水) 芋桶沢 予定	(調査河川等) 芋桶沢を中心に調査
	・五龍のフジに関する情報交換 1回目 7月18日 交流館 2回目 7月28日 角掛神社	元村周辺自治会集会出席 五龍のフジ管理作業
文化財等保護整備	1回目 5月31日(金) 2回目 6月3日(月) 3回目 6月19日(水)	市内文化財巡視 餓死供養塔草刈 市内文化財巡視(山形県沖地震)
民俗芸能保存・伝承 (無形民俗文化財)	・郷土芸能保存団体代表者会議 1回目 5月30日 市役所 2回目 8月～9月 予定	代表者会議・まつり打合せ 年間4回～5回(予定)
	・郷土芸能保存団体支援活動 ・郷土芸能出演依頼の調整	年間を通して調整
	・民俗芸能功労者表彰推薦 (市郷土芸能団体協議会から)	岩手県民俗芸能団体協議会表彰 ⇒本年度は大沢田植踊り保存会 の大坪佐市会長が受賞

<p>民俗芸能保存・伝承 (無形民俗文化財)</p>	<p>・滝沢市郷土芸能まつり 令和2年1月26日(日)</p>	<p>会場：ビッググループ滝沢</p>
<p>その他</p>	<p>有形民俗資料民具類保存整理</p>	<p>展示方法の検討 (民具類の移転は完了)</p>



カワシンジュガイ調査

7月31日(水)

芋桶沢上流

(2) 埋蔵文化財関係

・埋蔵文化財調査

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財有無確認調査 (GIS 他)	埋蔵文化財包蔵地の確認 GIS 89件 Eメール 1件 FAX 46件 合計 136件	Eメール、FAXにて回答 (6月30日現在)
	事前申出書による指導 公共 1件 民間 4件 合計 5件	文書による回答 (6月30日現在)
埋蔵文化財試掘調査	埋蔵文化財の試掘調査 民間 (93条) 5件 公共 (94条) 1件 合計 5件	4月11日 (木) 4月24日 (水) 6月12日 (水) 高柳遺跡・試掘指導 他は遺構・遺物の出土は無し。 (6月30日現在)
埋蔵文化財発掘調査	発掘調査	年間 (現在、予定無し)
埋蔵文化財調査報告書作成事業	調査報告書作成	年間 (予定無し)

・調査・研究

事業・活動名	実施状況	実施内容
収蔵資料の再調査	将来の展示替えに備えて再調査 (国庫補助金・地域の特色ある埋蔵文化財活用事業) 平成31年4月1日～令和2年3月31日	・縄文早期前葉から縄文前期の遺物について台帳整備 ・過去の調査写真 (カラースライド) のデジタル化

・教育普及活用

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財収蔵資料展示公開	発掘調査の成果の展示公開 ・4月25日 (木) 滝沢東小6年生社会科見学 ・6月13日 (木) 鶯飼小学校3年生市内めぐり	・生徒44名、先生2名、合計46名見学 ・生徒121名、先生6名、合計127名見学

歴史体験事業	土器・埴輪の製作体験 火起こし体験・勾玉の製作体験 ・勾玉 67名・37件 ・はにわ・土器 11名・7件 合計 78名・44件	随時（6月30日現在）
	出前講座 ・7月17日（水） 大釜いきいきサロン	・縄文土器作り 25名
埋蔵文化財講座	最新の考古学研究成果を中心とした講座	11月～12月予定

・職員研修

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財発掘技術者講習会	発掘調査技術の技能・資質の向上	年間
発掘調査現地説明会	発掘調査された遺構・遺物について知見	年間

・連絡調整

事業・活動名	実施状況	実施内容
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	埋蔵文化財センター管理運営の連絡調整、連携強化	北海道・東北ブロック会議（時期未定）
岩手県史跡整備市町村協議会	史跡の整備活用の連携強化 ・6月21日（金）総会 矢巾町公民館	総会・研修会 ・欠席

・施設の管理運営

事業・活動名	実施状況	実施内容
施設運営と史跡公園の保存管理	埋蔵文化財センターや史跡公園 湯舟沢環状列石保存管理 ・5月27日（月）、28日（火） ・7月1日（月）、2日（火）	年間 ・草刈（第1回） ・草刈（第2回）

## 報告第2号 民具の展示について

### 1 経過

市所有の民具は滝沢ふるさと交流館隣のプレハブに収納されていたが、昨年度までに旧滝沢市公民館ホールに移動し保管した。

文化財学習の材料として児童生徒が民具を見学できる機会を設けるため、展示に向けた準備を進めている。

### 2 展示の方向性

#### (1) 展示概要

生業や衣食住に関するものなど、生活の幅広い分野にわたって使用されてきた民具の展示を行うもの。

#### (2) 展示内容（予定）

展示に当たっては、農具や生活用具を中心に取り上げ、当時の人々の暮らしに理解を深めるためのスペースとする。

ホール中央部に「農具」の中から、米や豆・味噌づくりの加工に使用された器具を加工の一連の流れに沿って展示する。また、馬具の展示も行い、農業に欠かせない存在であった馬との関わりに関心を持ってもらうよう展示する。

ホール壁面の展示棚には各種生活周辺用品を展示する。

#### ア 農具（ホール中央部）

##### 1) 「米」

田植え（笠、蓑）→収穫（鎌）→脱穀（せんばこき、脱穀機）→選別（とうみ、万石通し、俵）

##### 2) 「豆・味噌づくり」

煮る（釜）→大豆をつぶす（臼、杵、つまご）→発酵（発酵）

##### 3) 「馬具」

馬そり、鞍、馬そり

#### イ 生活周辺用品（ホール壁面部）

たんす、長持、鉄びん、食器、えじこ など



### 3 展示に向けた活動内容

活動名	実施内容
文化財調査委員会議 現地調査 7月26日（金）	ホール内展示状況の確認
展示内容検討・作業	ホール内展示作業（7月～8月）
展示した民具の公開	2学期中に公開予定

## 参考資料

## 滝沢市指定文化財・新規候補案件について

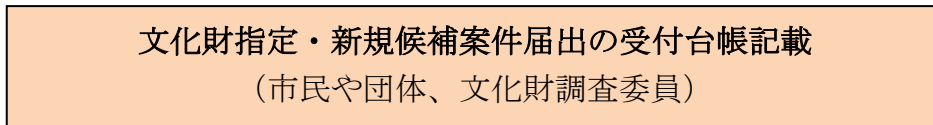
現在の案件台帳の登録数は9件。

No.	受付年月日	区分	提出者	分類	名称
No.01	H26.7.30	委員	土井 宣夫	10記念物(天然記念物)	雫石川の遷移点と飯岡層中の硫化物鉱脈
No.02	H26.7.30	委員	土井 宣夫	10記念物(天然記念物)	活断層の撓曲崖
No.03	H26.7.30	委員	土井 宣夫	10記念物(天然記念物)	焼走り溶岩第1火口および第2火口
No.04	H26.7.30	委員	土井 宣夫	10記念物(天然記念物)	岩手山頂薬師火口内の妙高岳と御室火口
No.05	H26.7.30	委員	土井 宣夫	10記念物(天然記念物)	岩屑なだれ堆積物がつくる断崖
No.06	H27.1.10	委員	片山 千賀志	10記念物(天然記念物)	ゴマシジミ
No.07	H28.2.25	委員	片山 千賀志	10記念物(天然記念物)	カワシンジュガイ
No.08	H29.7.28	市民	齊藤 健二	07民俗文化財(無形)	大沢さんさ踊り
No.09	H30.5.28	市民	西村 洋子	07民俗文化財(無形)	滝沢市さんさ踊り

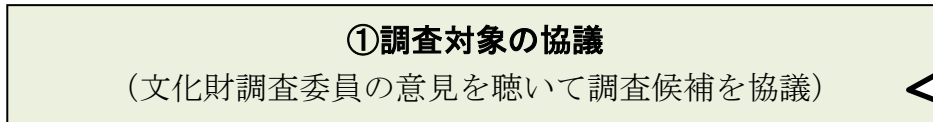


■指定までのフローと候補案件の現在の状況

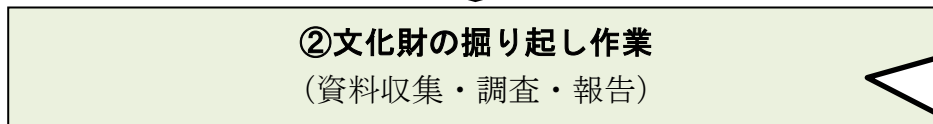
→ 届出がありましたら受付台帳に記載します



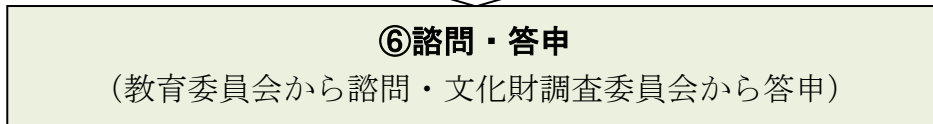
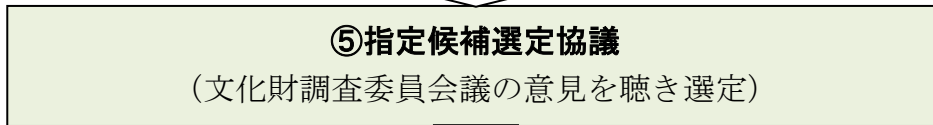
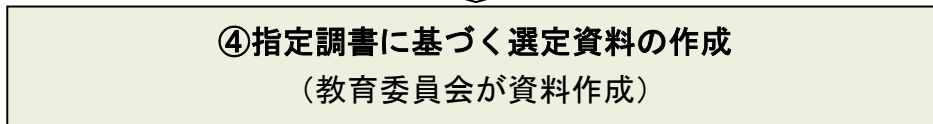
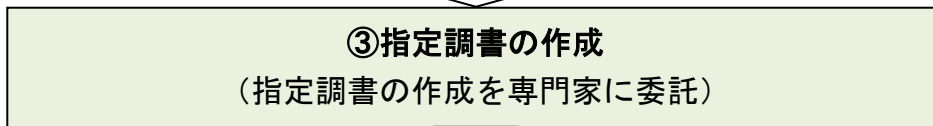
→ 文化財指定まで (次のような流れで進みます)



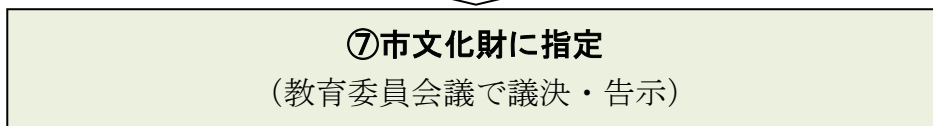
大沢さんさ踊り  
他、雫石川遷移点  
や岩手山関係、ゴ  
マシジミなど



カワシンジュガイ  
生息調査  
平成29年度～令和  
元年度(3ヶ年)



☆指定が適当と認められた場合



(参考：届出書様式)

滝沢市指定文化財・新規候補案件届出書（申請イメージ）

1	届出年月日	平成29年 ○月 ○日	
2 届出 人	住 所	(〒020-0692) 岩手県滝沢市中鵜飼55番地	
	氏 名	滝沢市郷土芸能保存団体協議会 会長 堀江 徹	
	電話番号	団体窓口 019-656-6586 (内線 6153)	
3 届出 内容	分 類	<input type="checkbox"/> 有形文化財（ <input type="checkbox"/> 建造物・ <input type="checkbox"/> 美術工芸品） <input type="checkbox"/> 無形文化財（ <input type="checkbox"/> 芸能・ <input type="checkbox"/> 工芸技術・ <input type="checkbox"/> その他） <input checked="" type="checkbox"/> 民俗文化財（ <input type="checkbox"/> 有形・ <input checked="" type="checkbox"/> 無形） <input type="checkbox"/> 記念物（ <input type="checkbox"/> 史跡・ <input type="checkbox"/> 名勝・ <input type="checkbox"/> 天然記念物） <input type="checkbox"/> 文化的景観 <input type="checkbox"/> 伝統的建造物群保存地区 <input type="checkbox"/> 保存技術	
	名 称	①〇〇保存会 ②〇〇保存会	
	員 数		
	品質・形状	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;">                     滝沢市さんさ踊り保存会                      蒼前太鼓保存会                 </div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;">                     各保存団体の設立概要、伝来、活動歴等の資料を                      別添付する。                 </div>	
	寸法・重量		
	作 者		
	時代又は年代		
	画讃・奥書・ 銘文等		
	伝 来		
	所 在 地		
所有者	住所		
	氏名		